レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日		
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年	平成　　年　　月
レジメン名	FOLFIRI				
疾患名	大腸がん	適応の備考			
適応分類	進行再発				
1コース日数	14　日間	総コース数	コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	イリノテカン150mg/㎡　day1、5－FU400mg/㎡day1,2、600mg/㎡　day1,2				

治療スケジュール　・　投与日程（投与日は●）　(day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30 分	●													
	点滴静注	プロイメンド注150mg	1	本 / body		●													
	抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴			/															
2	主ルート	ｱﾛｷｼ注ﾊﾞｯｸ0.75mg/50mL	1	本 / body	30 分	●													
	点滴静注	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	3	本 / body		●													
	デキサート注は、3.3mgでも可			/															
3	主ルート	5%ブドウ糖液500mL	1	本 / body	90 分	●													
	点滴静注	イリノテカン	150	mg / ㎡		●													
	Rp3とRp4を同時投与する			/															
4	側管	5%ブドウ糖液250mL	1	本 / body	2 時間	●	●												
	点滴静注	レボホリナート	100	mg / ㎡		●	●												
	Rp3とRp4を同時投与する																		
5	主ルート																		
	点滴静注	生食500mL	1	本 / body	24 時間	●	●												
	ルートキープ用			/															
6	側管	生食50mL	1	本 / body	5 分	●	●												
	点滴静注	5-FU	400	mg / ㎡		●	●												
7	側管	生食20mL	2	本 / body	22 時間	●	●												
	点滴静注	5-FU	600	mg / ㎡		●	●												
	全量を44mLとする																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

生食でルートキープする。

Rp3とRp4を同時投与する

・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄﾞは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ﾌﾟﾛｲﾒﾝﾄﾞの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

Rp 7）の5-FU注は生食で希釈し、全量44mLとする。シリンジポンプを使用し、2mL/時で投与する。